

謹賀新年



根崎さん 喜屋武さん 鈴木さん 工藤さん 中神さん 岩崎さん

平成29年度 神奈川県溶接技術コンクール入賞者上位6名「チームKANAGAWA」

平成29年度定時総会 及び 平成29年度(第60回)神奈川県溶接技術コンクール 表彰式開催

一般社団法人神奈川県溶接協会平成29年度定時総会が、平成29年5月26日(金)に(一財)日本溶接技術センターにおいて262名(委任状出席を含む)出席の中行われました。冒頭志賀会長より、「平成29年10月には全国溶接技術競技会が、ここ神奈川で行われ全国より多くの方々を迎える、また12月には協会設立60周年記念行事を控えている。役員、事務局、また関係各所と協力し、成功に向けて力を結集していきたい。」旨の挨拶がのべられました。

その後、平成29年度・30年度の役員改選の議案が諮られ、以下の通り役員が承認されました。

会長	志賀 啓介	新興プランテック(株)	副会長	尾茂田 剛	(株)大倉製作所
副会長	外館 明	JFEエンジニアリング(株)	副会長	堀切 幸夫	東芝プラントシステム(株)
理事	黒川 剛志	(一財)日本溶接技術センター	理事	相馬源市郎	(株)福岡鉄工所
理事	飯塚 実	富士電機(株)	理事	平野 隆	(株)IIH横浜工場
理事	神田 豊	(株)総合車両製作所	理事	牧野 吉延	(株)東芝エネルギーシステムソリューション社
理事	大菱池 学	三菱重工(株)防衛・宇宙セグメント	理事	大矢 雅博	神鋼溶接サービス(株)
理事	中垣 憲人	住友重機械マリンエンジニアリング(株)	監事	岸部 直喜	神奈川県鉄構業協同組合
専務理事	岩井 忠義	(一社)神奈川県溶接協会	監事	吉野 慎吾	(株)タセト

また、昨年度(平成28年度)の事業報告、決算報告、監査報告、また平成29年度の事業計画案、予算案が諮られ、すべての議案が承認されたことをご報告いたします。

続いて、貢献賞表彰として前会長(株)IHIの平野賢治氏へ、永年協会の団体特別会員としてご協力いただきありがとうございました三菱日立パワーシステムズ(株)様が、平成29年3月31日に退会されたことに伴い、理事また副会長としてご活躍いただきました森谷俊昭氏へ、同じくコンクール委員の上妻拓雄氏へ感謝状と記念品が贈られました。

定時総会終了後は、去る2月2日に神奈川県及び一般社団法人神奈川県溶接協会共催にて開催された平成29年度(第60回)神奈川県溶接技術コンクールの表彰式が60名を超える出席者を得て、挙行されました。主催者を代表して神奈川県産業労働局産業部産業振興課山崎博課長にご挨拶をいただいた後、神奈川県知事賞団体賞・個人賞を授与していただきました。(入賞者の詳細につきましては、前号にて発表、掲載しています)

団体賞	被覆アーク溶接の部	(株)東芝浜川崎工場(現東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場)
	炭酸ガスアーク溶接の部	住友重機械マリンエンジニアリング(株)
個人賞	被覆アーク溶接の部	鈴木 耕久 (株)東芝浜川崎工場(現東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場)
	炭酸ガスアーク溶接の部	工藤 将太 住友重機械マリンエンジニアリング(株)

平成29年度全国溶接技術競技会が神奈川で行われるため、開催県枠として1名分増となり、全国大会への推薦選手は各部門3名ずつとなります。表彰式後の懇親会では、全国大会へ向け力強い抱負が述べられ、お互いライバルであると同時に“チームKANAGAWA”として全国競技会へ向け協力し、益々の研鑽をつむことを誓ってくれました。

平成29年度第63回全国溶接技術競技会東部地区神奈川大会 (株) IHI 横浜事業所において盛大に開催される



平成29年10月21日、22日、第63回全国溶接技術競技会が、ここ神奈川県横浜市磯子区の(株)IHI横浜事業所で開催されました。東部地区大会としては、前回平成19年に群馬県で開催されましたが、神奈川県では平成13年の三菱重工(株)横浜製作所で行われて以来の全国大会となります。

全国各地より優勝を目指し112名(各部56名)が集結し、自慢の腕前を競いました。今大会では、初めて女性代表者が出場!しかも2名(炭酸ガスアーク溶接の部 東京都代表・広島県代表)。また、最年少20歳の選手(炭酸ガスアーク溶接の部 神奈川県代表)も参加する、という記憶に残る大会となりました。

1日目(21日)の見学会では、会場となった(株)IHIのスケールの大きさに来場者からは驚きの声が聞かれました。そう!今大会ではその会場の広さを活用し、競技中の選手の生の姿を見学する、ということが実現できたのです。

見学会の後の開会式は、横浜みなとみらいにある横浜ロイヤルパークホテルに場所を移し、神奈川県の中島副知事をはじめ、多くのご来賓の方々を迎え盛大に開催されました。

選手の集合写真の後、競技説明が(一社)日本溶接協会実行委員の石川委員より、会場説明は(株)IHI横浜工場の平野部長より行われました。

続いて行われた開会式では、鈴木実平運営委員長の開会宣言の後、競技会会長の一般社団法人日本溶接協会栗飯原会長より選手へ激励の言葉が送られました。実行委員長である当協会の会長志賀からは、溶接を通して人と人とのつながりの大切さが選手へ伝えられました。また、素晴らしい競技会場をご提供くださった(株)IHI横浜事業所長の片平様より選手への暖かい歓迎の言葉寄せられました。審査を担当する東部地区溶接技術検定委員会の中込委員長からは、公正なる審査を約束する旨の挨拶があり、多くのご来賓を代表して、後援をいただいた神奈川県の中島正信副知事からもご挨拶を頂戴いたしました。



中島 神奈川県副知事



栗飯原 会長

ここ数年恒例となった大きなモニター写真を利用したの選手紹介の後、選手を代表しての選手宣誓は、昨年度被覆アーク溶接の部特別優秀賞(2位)で、今年は雪辱を誓う東芝エネルギーシステムズ(株)鈴木耕久さんが行い、力強くまた今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちのこもった素晴らしい宣誓が行われました。鈴木さんは、当協会事務所のビルにある日本唯一の溶接構造専門学校の卒業生であり、兄貴肌の人柄で、“チームKANAGAWA”の大切なリーダー的存在です。

その後の技術交流会では、横浜中華学園の方による、伝統的な獅子舞が二頭登場し、大きな会場の中を来場者の頭を噛み、福をまきながら進み、演台でのアクロバティックなまたユーモアのある獅子の舞に大きな拍手が送られて



中込 審査委員長



鈴木実平 運営委員長



片平 所長

ていました。この獅子に頭を噛んでもらうと厄を祓い福が来る「開運厄除」や「無病息災」の御利益があるといわれています。選手の皆さんは、各都道府県を代表する腕前の持ち主ばかり、優勝にはこの“運”も味方につけて、明日の競技会へ臨んでほしいと願いながら散会となりました。



説明に聞き入る競技前の選手



一般公開された競技場

さて、2日目はいよいよ競技会本番。例年この時期は秋晴れの穏やかな日も多いのですが、なんと！大型台風が接近。朝から雨、雨、雨、午後には強風も伴い、選手、関係者も苦慮しました。

しかしそのような状況の中でも、競技本番ともなると、選手の集中力で会場は熱気を帯び、アークの光が一斉に放たれている選手の後姿が、とても印象的でした。

前述の通り、今大会ではここ数年行われているビデオによる実況中継（定点カメラ）に加え、競技中の一般公開が行われ、競技中の選手を間近で見ることが出来ると、多くの見学者が訪れました。この見学に際しては、担当実行委員により十分な打ち合わせが事前に重ねられ、選手の妨げにならないよう、最大限の配慮がなされました。また、見学者の方々も、スマホ、カメラ、私語の禁止という掟！？を遵守し、整然とした見学に協力をしていただきました。

この一般公開の成功の裏には、嵐の中ずぶ濡れになりながら案内をする実行委員の存在を忘れてはならない、と改めてご協力を頂いた皆様への感謝の気持ちを抱くところです。

今回神奈川県は、開催県枠があり各種目それぞれ3名（通常2名）で合計6名の参加となりました。そのうち3名は㈱IHI横浜事業所の喜屋武秀人さん、根崎弘崇さん、岩崎拳也さん、住友重機械マリンエンジニアリング㈱の工藤将太さん、東芝エネルギーシステムズ㈱浜川崎工場の鈴木耕久さん、東芝エネルギーシステムズ㈱京浜事業所の中神貴紘さん。3社4事業所と所属が異なるにも関わらず、チームワーク、結束力が強く、そして何より皆明るい！それぞれの会社の期待を背負い、また神奈川県代表という大きな看板を背負って、素晴らしい闘いを繰り広げてくれました。本当にありがとうございました。結果を楽しみに待ちたいと思います。



中華 獅子舞

最後になりましたが、一般社団法人日本溶接協会、また自ら現場の先頭に立ち陣頭指揮を執って下さった片平事業所長をはじめとする㈱IHI横浜事業所、東部地区連絡会（新潟、栃木、群馬、茨城、埼玉、山梨、長野、東京、首都圏）、中込委員長をはじめ東部地区溶接技術検定委員会、（一財）日本溶接技術センター、数年前にこの大会開催が決まり、成功へ向けご協力を頂きました多くの方々へ心より感謝申し上げます。



選手宣誓 鈴木選手



競技に集中する選手

平成30年度(第61回)神奈川県溶接技術コンクール 開催のお知らせ

平成30年2月2日(金)（一財）日本溶接技術センターにおいて、第61回神奈川県溶接技術コンクールが下記の通り開催されます。

全国溶接技術コンクールの課題は、ここ数年5年ごとに見直されているため、この第61回大会が今課題最後の年度となる予定です。

被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接の部それぞれ2名が、山口県で開催される第64回全国競技会の代表選手に選ばれることとなります。日頃の腕前を試す良い機会となるかと思えます。たくさんの方々のご応募をお待ちいたしております。

- ・主催 神奈川県・一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 平成30年2月2日（申込締切日 平成29年12月22日）
- ・会場 （一財）日本溶接技術センター
- ・参加資格 県下の溶接技術者で、各事業所から推薦された者 又は 県内在住又は在勤の個人
- ・競技課題 全国溶接技術コンクール課題と同様
（競技実施要領ご希望の方は、（一社）神奈川県溶接協会までお問い合わせください）

平成29年度(第8回)関東甲信越高校生コンクール 結果

平成29年4月22日(土)、藤沢市にある神鋼溶接サービス(株)研修センターにおいて、第8回関東甲信越高校生コンクールが開催されました。年を追うごとに選手の実力も伯仲するこの大会。今年度の審査では、外観判定・UT試験判定の審査割合を変更し、外観よりも品質をより重視する審査となりました。

優勝は、新潟県代表新津工業高校の鈴木翔太選手でした。神奈川県代表の種村凜哉選手(神奈川県立神奈川工業高校)は、第5位の優秀賞、同じく代表の谷代永遠選手(同校)は第7位の優良賞に輝きました。

県代表選手の2名は、短い春休みの一週間(一財)日本溶接技術センターへ練習に通い、力をつけコンクールに臨み、優秀な成績をおさめました。今後の活躍も大いに期待するところです。

また、平成31年度第10回大会より、競技課題がN-2Fへ変更されることになり、全国の高校生とも腕を競うことが出来るレベルにより近づき、県内の若い技術者の育成にも寄与できるかと考えます。

高校生による溶接研修会及び溶接コンクール について

◎神奈川県工業高等学校教師・生徒研修について

一般社団法人神奈川県溶接協会と(一財)日本溶接技術センターは共同で平成29年度神奈川県教科研究会工業部会が主催する神奈川県教科研究会工業部会 機械専門部 夏季研修会「アーク溶接技能講習」を8月7、8、9日(3日間)開催しました。これは高等学校教師・生徒に対する溶接技能の研修会です。神奈川県溶接協会としては今年で9回目になります。

実習内容は溶接技能評価試験のA-2F(板厚9mm裏当て金あり下向き)です。参加者は8校から先生、生徒43名が参加しました。今年も昨年同様、神奈川県職業能力開発協会のご協力の元、溶接技術マイスターの佐藤丹治先生をお迎えして行われ、講師から溶接技術の基本、勘所についてなどレクチャーを受け、先生も生徒も皆さん真夏の猛暑の中、大変熱心に取り組んでいたのが印象的でした。また、年を重ねるごとに教師、生徒の技量も向上しているように感じられました。

尚 8月10日には(一財)日本溶接技術センターが『非破壊検査セミナー』を開催しました。前日の講習で溶接した参加者各自の作品を蛍光探傷試験及びエックス線透過試験したものを専門家の解説を受けながら溶接部の観察をしました。普段見ることのできない溶接内部の状況に参加者は目を輝かせて見入っていました。

平成29年度(第9回)神奈川県高校生溶接コンクール

平成29年度(第9回)神奈川県高校生溶接コンクールを、下記要領により開催しました。

主 催：(一社)神奈川県溶接協会 後 援：神奈川県工業高等学校校長会

協 力：(一財)日本溶接技術センター

会 場：(一財)日本溶接技術センター 期 日：平成29年11月23日(木)

競技課題：溶接評価試験のA-2F(板厚9mm裏当て金あり下向き)

判定方法：外観判定・エックス線試験判定

参 加 者：神奈川県内の工業高等学校生徒 7校 17名

結 果：優 勝 水腰 英晴(神奈川県立神奈川工業高校) 準優勝 菅野 真利(神奈川県立磯子工業高校)

以上2名の方を平成30年4月28日(土)、東京ビッグサイト(2018国際ウエルディングショー特設会場)で開催される平成30年度(第9回)関東甲信越高校生コンクールに神奈川県代表として推薦します。

審査を担当した委員も、年々参加選手の技量が拮抗し、特に今年度は上位選手の外観またエックス線試験でも、ほぼ満点で、順位をつけるのに大変苦労したようでした。

また、この大会にエントリーをした選手には、神奈川県鉄構業協同組合様より練習材を200枚(1選手5セット)提供いただき、各高校で事前練習も行われ、そのことも参加選手の技量向上に寄与していると考えます。

優勝者への副賞は、これもここ数年神奈川県鉄構業協同組合様より最新の遮光面をご寄付いただき、生徒より羨望の眼差しがおくられていました。結果発表までの時間には、来年度からの課題N-2Fのデモンストレーションが、(一財)日本溶接技術センターの大石氏により行われ、教師、生徒とも熱心に手元を見つめていました。



志賀会長 準優勝の菅野君 優勝の水腰君 後藤校長 岸部神奈川県鉄構業協同組合理事長

サーベイランス(継続試験)と更新試験(再評価試験)

溶接適格性証明書には登録年月日(発行年月日)と有効期限が記載されています。サーベイランスとは書類のみの手続きで試験はありません。有効期限の3ヶ月前から期限の日までに手続きをしてください。必ず有効期限の3ヶ月前に通知を出しています。最初(1回目)のサーベイランスをしないと2回目のサーベイランスの通知は行きません。サーベイランスは2回です。

サーベイランスを2回されますと、次は更新試験(再評価試験)になります。実技試験を受け直して合格されますと新しく証明書が発行されます。但し、1回目のサーベイランス又は2回目のサーベイランスをされませんと更新試験の案内も行きませんのでご注意ください。